

金町がめざす将来像 2

地域を『ツナグ』活力を高めるにぎわいづくり

東 東金町一丁目西地区は、店舗・事務所により地域商店街が構成されていますが、周辺地域も含め、現在は空き店舗や低未利用地が目立ち、地域の活力が低下しつつあります。このような課題や地域のニーズを踏まえ、土地の高度利用を図る再開発事業が始まります。

令和4年度
Ⅰ期
着工予定

令和7年度
Ⅰ期
竣工予定

段階的施工計画

令和8年度
Ⅱ期
着工予定

令和12年度
Ⅱ期
竣工予定



東金町一丁目西地区イメージパース

東金町一丁目西地区市街地再開発事業

子 育て世代からシニア世代まで多くの世代にわたる居住者が交流できる良質な居住環境および日常の利便性や生活を向上させる生活サービス機能からなる複合建築物を整備します。さらに周辺道路や地区との連続性を補完し地域の回遊性を促進するため、地区施設として広場や歩道状空地の整備により歩行者ネットワークを形成し、魅力ある都市環境の創出を図っていきます。

地域の顔となる広場

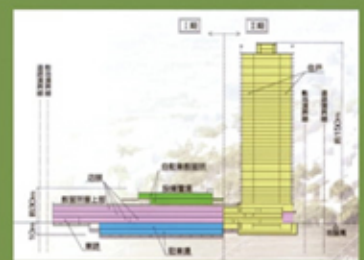
エリアマネジメントにおけるイベントの活用や、災害時の活用など、地域の拠点として整備します。

まちの憩いの場としての広場

隣接する低層住宅エリアと接する交差点部分に広場を整備し、にぎわいや憩いの場として活用します。

施設建築物の構成

低層部に商業、高層部に住宅(約860戸)をそれぞれ配置し、低層部4階には区民事務所やパンケットホールなどの公益施設を計画します。また低層部の屋上には自動車教習所を再整備する予定としております。



金町がめざすべき将来像

水元公園や柴又、都心や千葉方面へ繋がる玄関口としての交通基盤や機能を更に充実させ、人と人の繋がりを承継させながら、地域の活力を「明日へツナグ」持続可能なまちづくりをめざします。

理科大学通り、しょうぶ通りの拡幅、駅前広場の拡張など、金町駅周辺の整備は多くの方が要望されている事案ですので、区にはしっかりと都市計画決定の道すじをつけて、早期の実現を強く要望します。

